

—まずは昨年の需要を振り返って。

「通信・電力向けの銅電線出荷量は前年並みになりそう。電気機械向けはコロナ禍による巣ごもり需要の反動で苦戦していたが家電関連などの分野では底打ちへの期待感が出てきた。自動車向けは車メーカーの認証不正の影響があったが足元は堅調な出荷数量が見込まれるようになってきた。

建設・電販は昨年と同程度もしくは若干下回る水準になりそう。その他内需向けは景気回復で需要が高まり、輸出向けは中東での電力ケーブル大型案件などでプラスになる見込みだ」

—電線不足が一時深刻化しましたが足元の状況は。

「昨年3月頃まで社会問題になっていた建設用電線不足については、建設業界での人手不足によ

森平 英也会長 (古河電工社長)



人材確保に向け情報発信強化へ

は多様な分野での技術革新。世界的にデータセンターが必要。電線産業は核融合炉の心臓部に用いる電磁石を構成する超電導線材の供給で大きな役割を果たす。また発電された電力を送るには大電流・高電圧に対応できる電力ケーブルが不可欠だ。加えて他の再生可能エネルギーとの併用も重要。電線業界としてはこれら

「人材不足は人的な課題についてはどう捉えているか。」

る工事遅れもあり現在の供給は比較的落ち着いている。ただ高圧ケーブルは納期が長い状況。工業会としては常に市場動向を注視し、不安が広がらないよう適切な情報発信に努める」

「2028年度まで銅電線出荷量は年率0.6%での増加を見込んでいます。人口や住宅着工の減少で建設・電販は大きく伸びない。一方再生可能エネルギーの導入拡大に向けた地域間連系線・広域連系線などの大型の電力網整備案件による需要が見込まれる。また自動車電動化などに伴い車載のモーター用巻線や電装品用電線の需要増もあるだろう」

「データセンターは非常に熱い市場。通信で非常に多い。電力ケーブルが多用途で取り組む機運の醸成に力を入れている。11月18日

日本電線工業会

「核融合発電はエネルギー問題解決に向け注目が集まっている。実現に

データセンター関連需要など商機

日を電線の日として定めているほか、電線への認知度を高め業界で仕事に携わる皆が自信をもって働ける職場・職業であるということを再認識していただくための活動も進めている」

「人材確保には電線業界ならではの魅力訴求も重要。会長として発信したいメッセージは。」

「働く人たちのことを考えた情報発信を強化したい。電線産業の一員だとさらに胸を張れるようになるには、電線の重要性について社会的認知度をより高めていく必要がある。そのため発信頻度を増やしたい。学生の皆さんには技術面での魅力や社会でどのように活用されているかなどをクローズアップして伝えたい。また電線以外の産業の工場などで使われている現場を紹介し、他業界に携わる人にも電線を認識いただくようなアプローチもあるかと思う」

(古瀬 唯)

